

<公開授業の紹介>

西宮市立浜脇中学校は、2020年度からNIE実践指定校として活動し、21年度から本格的に全生徒を対象にNIE活動を進めています。生徒の社会の動きに対する興味・関心をさらに高め、世界に目を向け、社会的な思考力を持って、自分の意見やアイデアを表現できる人物の育成を目指しています。

公開授業では、社会科授業で行っている「NIEノート活動」を中心に、さまざまなNIE活動を報告します。トライやる事業では兵庫県NIE推進協議会の事務局による講座から、生徒自身が「取材」「記事作り」などを体験したことを報告します。

《NIEノート発表の様子》



<西宮市立浜脇中学校の紹介>

所在地 西宮市宮前町 3-5

生徒数 814 人

教育目標 「確かな学力を身につけ、心豊かに育つ生徒の育成」

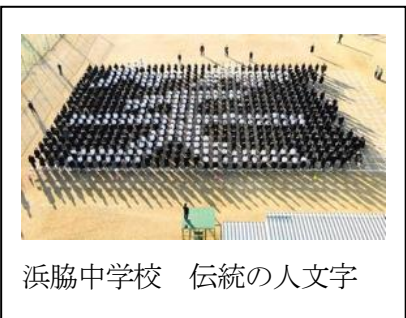
教育方針 「確かな学力を身につける学習集団の育成」

「相手を思いやる心を持つ生徒の育成」

「行事に燃える生徒の育成」

今年で創立 75 年を迎え、南は広田神社ゆかりの御前浜、北は福男選びで有名な西宮神社、西は日本の桜の名所百選の夙川、東は高校球児あこがれの甲子園球場、そして灘五郷のひとつ、日本酒の酒造会社が多数点在する校区にある学校です。

NIEの実践では、道徳や国語など教科等横断的な連携にも力を入れています。



浜脇中学校 伝統の人文字

<講師 渋谷仁崇教諭 プロフィール>

西宮市立浜脇中学校教諭、教務主任、日本新聞協会NIEアドバイザー。同市立苦楽園中学校、同市立平木中学校と、17年間継続してNIE活動を指導してきた。現在、西宮市を中心に、NIE活動推進のために活動中。